

株式会社まぐまぐ
2021年9月期 第2四半期
決算説明

株式会社まぐまぐ
東京証券取引所JASDAQスタンダード：4059

2021/5/20

1

2021年9月期 第2四半期 決算総括

2

2021年9月期 第2四半期 決算概要

3

事業トピックス

4

今後の展開

2021年9月期 第2四半期 決算総括

プラットフォーム事業の好調により利益が増加

売上高

2021年9月期2Q累計

3億4,712万円

うちプラットフォーム事業

1億8,212万円

前年同期比

97%

前年同期比

111%

営業利益

2021年9月期2Q累計

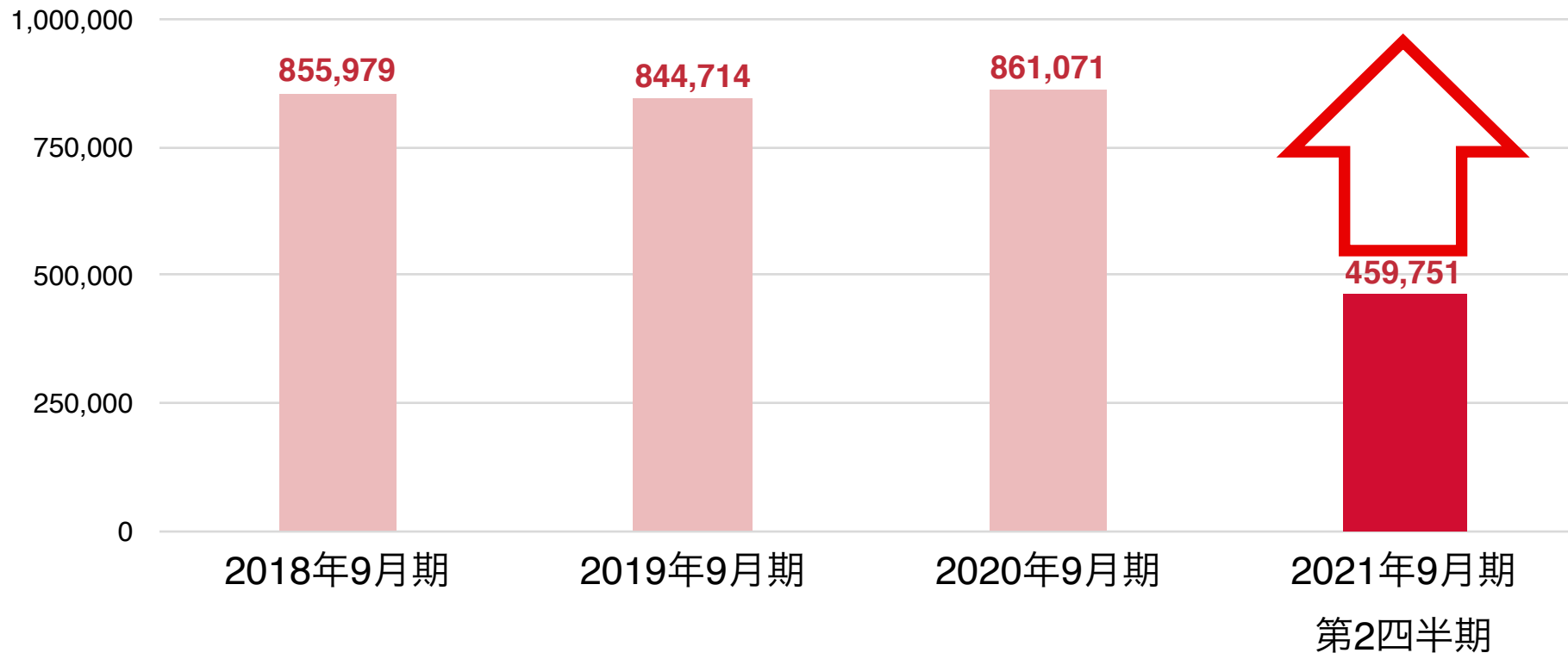
8,589万円

前年同期比

105%

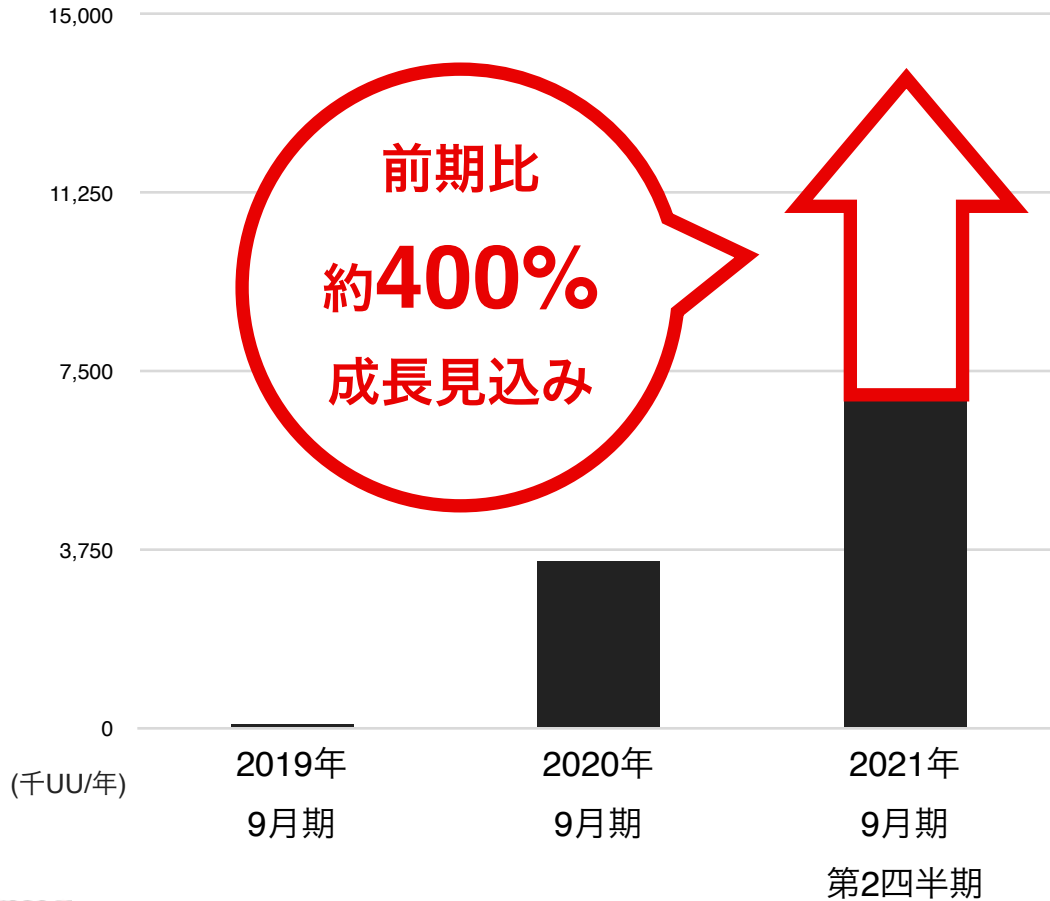
「まぐまぐ！」のコンテンツ年間取扱高も成長。 当期予想は、過去最高の9億円以上となる見込み。

(単位：千円)



*各グラフの2021年9月期第2四半期の矢印部分は第2四半期までの累計を2倍した場合のイメージとなります。

新メディア「*bythem*」のUUも成長。 当期予想は前期比400%で着地の見込み。



2021年9月期 第2四半期 決算概要

業績ハイライト

2021年9月期第2四半期(累計)は、業績予想に対して堅調に推移しております。

単位：千円

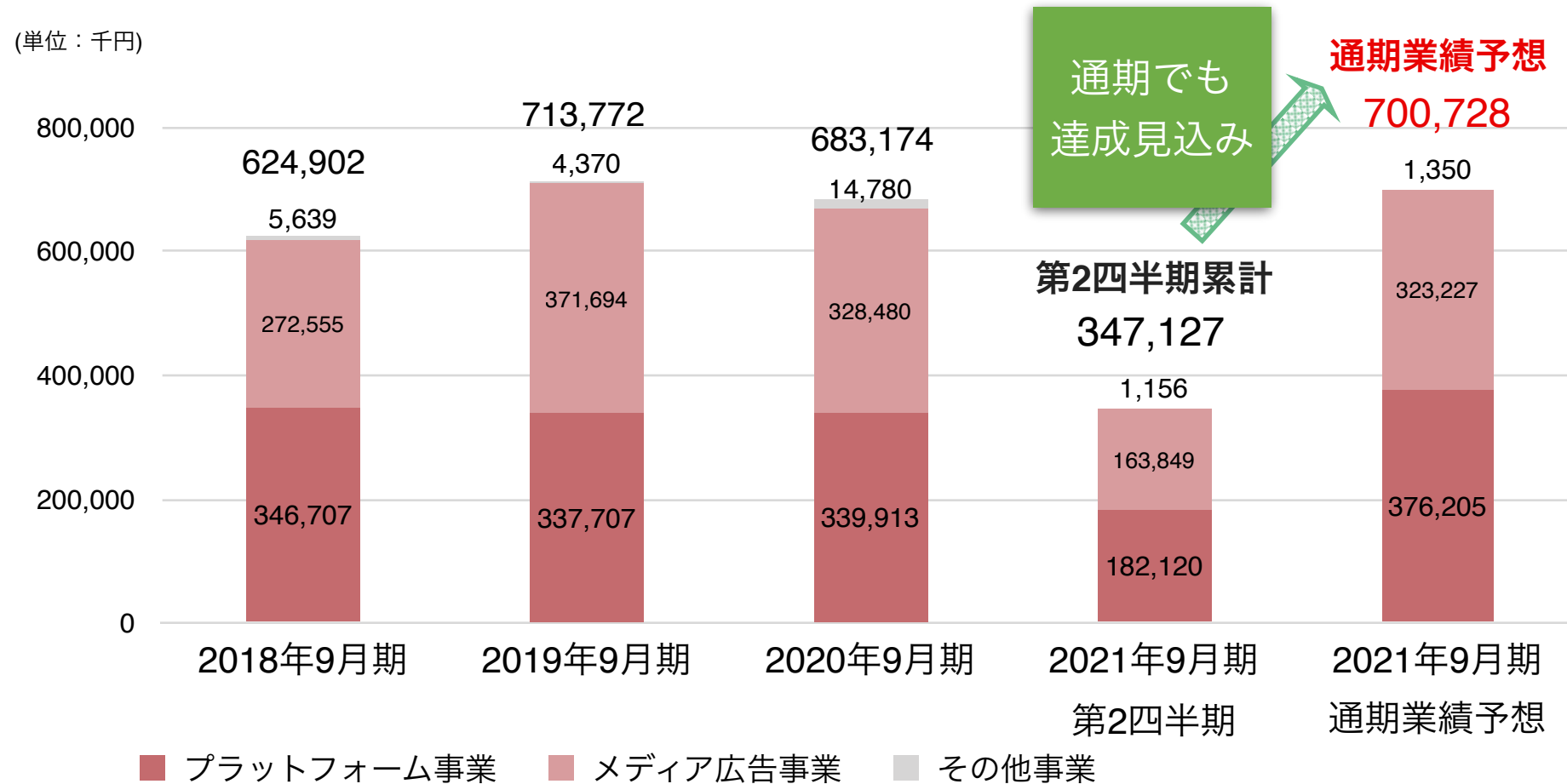
	2021年9月期 第2四半期(累計) 実績	2021年9月期 業績予想	業績予想に対する 進捗率
売上高	347,127	700,782	49.5%
売上総利益	218,165	415,434	52.5%
販管費	132,271	284,480	46.5%
営業利益 (営業利益率)	85,893 (24.7%)	130,953 (18.7%)	65.6%

堅調に推移

売上高推移

プラットフォーム事業は有料メルマガの有料会員数が堅調に推移。

メディア広告事業はアドネットワーク広告売上が改善傾向にあり、計画に対して堅調に推移。

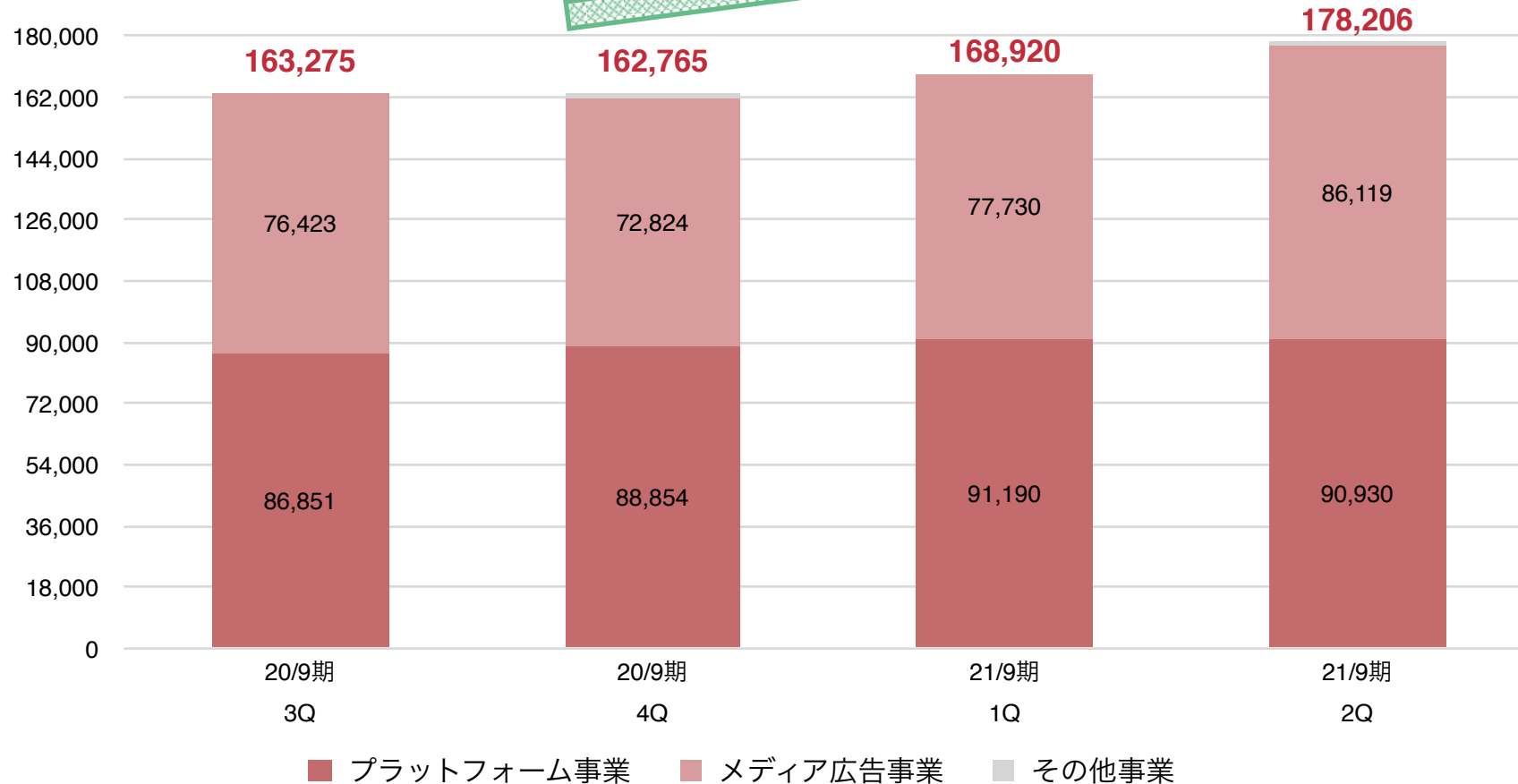


四半期 売上高推移

メディア広告事業の改善により、コロナ禍以前の水準に戻りつつあります。

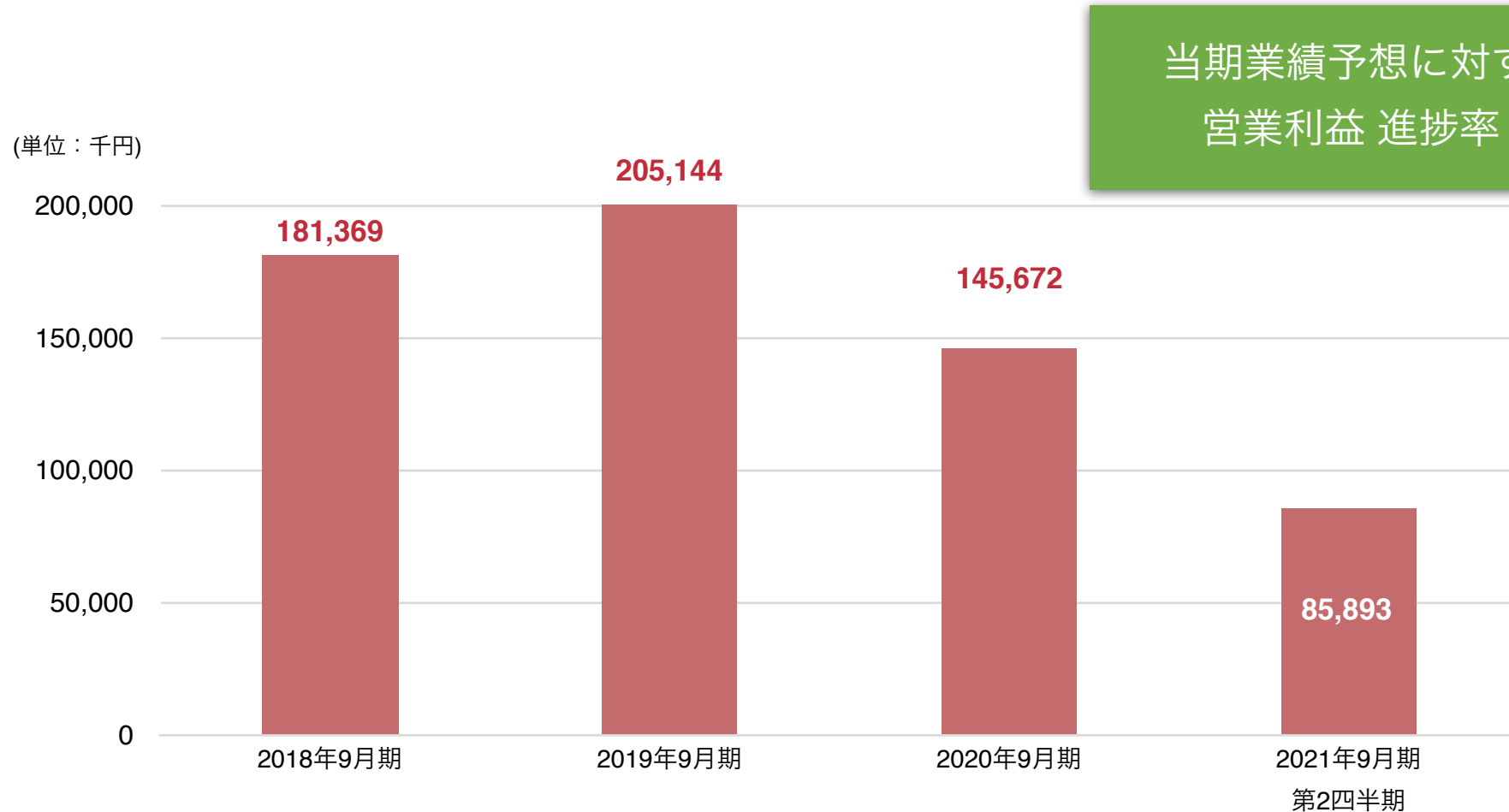
コロナ禍においても順調に成長
21/9期 1Qから2Qで105%成長

(単位：千円)



営業利益推移

営業利益も堅調に推移。

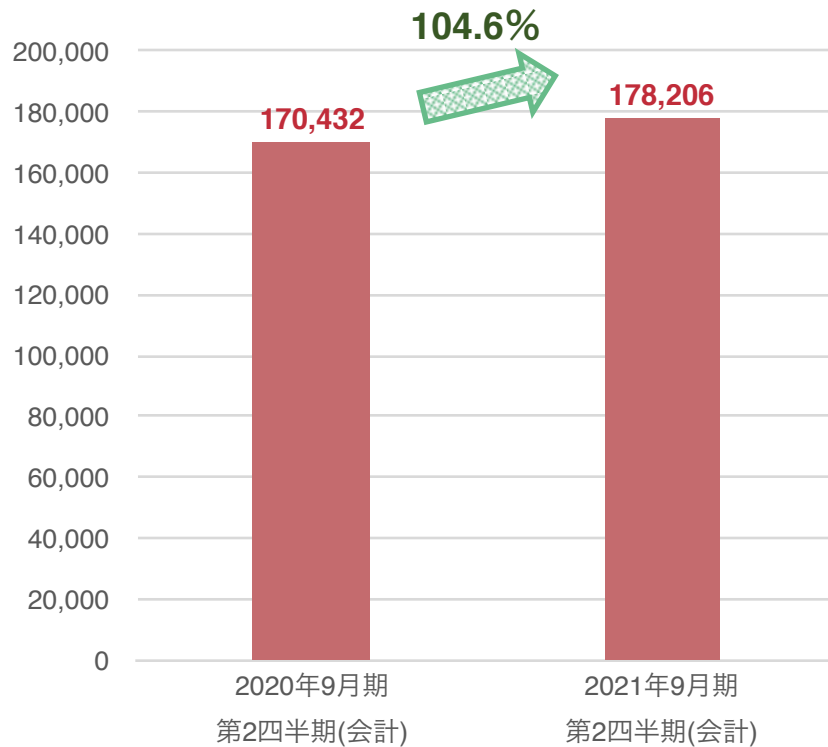


前期2Qとの比較

前期2Qと比較し、売上高は104.6%、営業利益は115.9%とともに成長している。

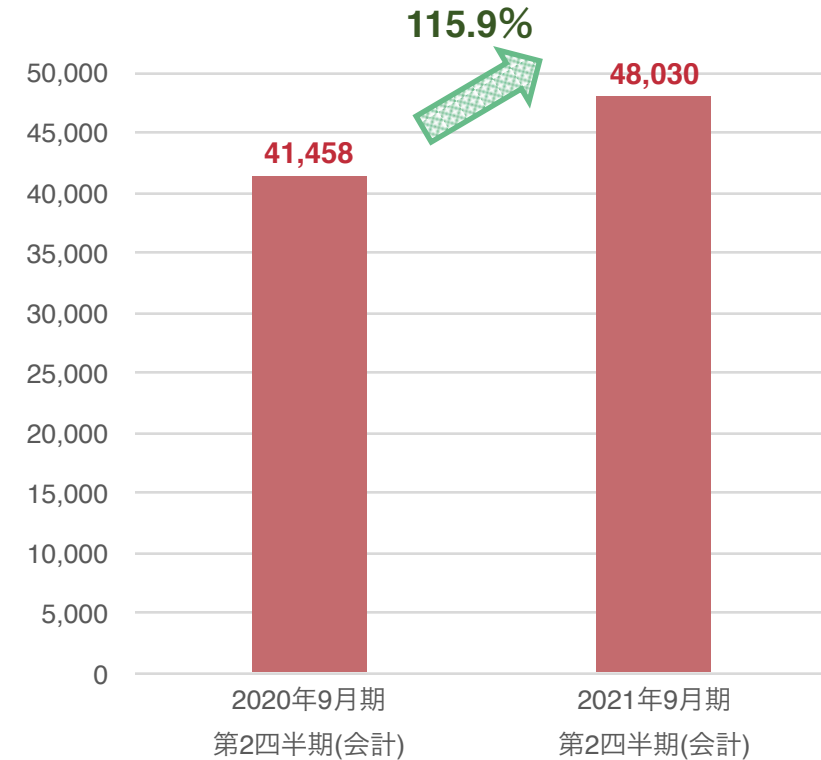
●売上高

(単位：千円)



●営業利益

(単位：千円)

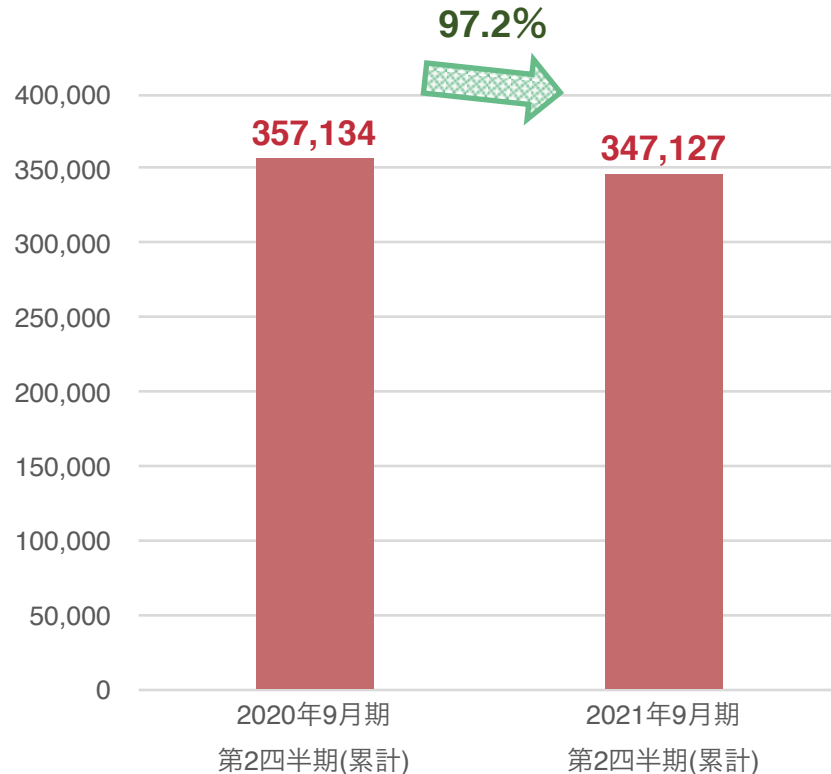


前期第2四半期累計との比較

前期第2四半期累計と比較し、売上高は97.2%、営業利益は105.1%。新型コロナの影響でメディア広告事業の売上は微減したものの、プラットフォーム事業が好調。結果、営業利益は増加しました。

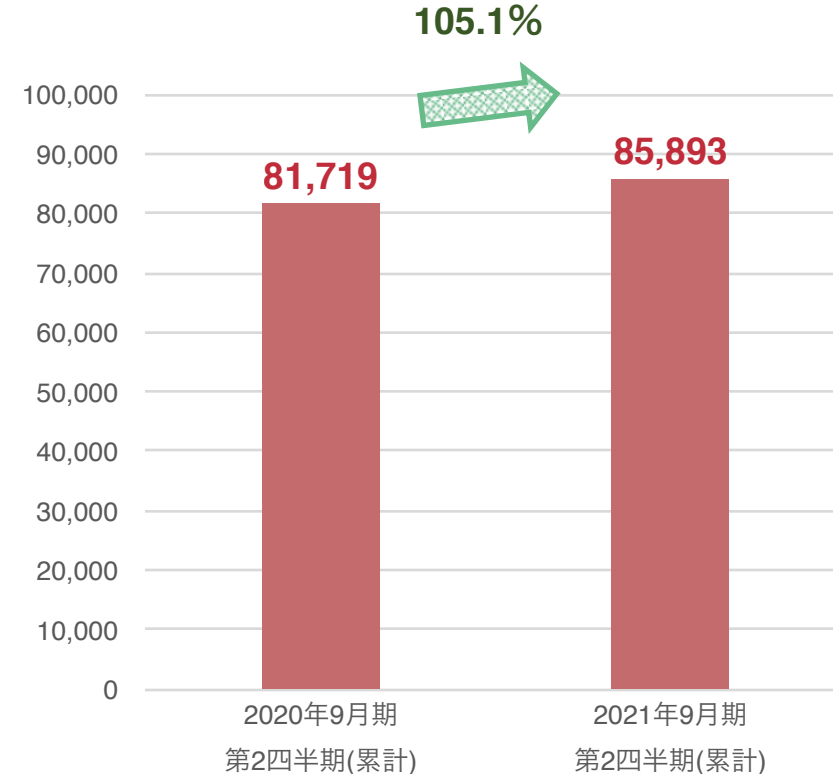
●売上高

(単位：千円)



●営業利益

(単位：千円)



貸借対照表 概況

事業活動による四半期純利益の獲得により、流動資産および純資産が増加しました。

単位：千円

	2020年9月期 通期実績	2021年9月期 第2四半期実績	増減額
流動資産	1,377,929	1,447,420	69,491
固定資産	97,914	98,022	107
有形固定資産	10,883	8,694	▲2,189
無形固定資産	63,866	65,361	1,495
投資その他の資産	23,165	23,967	801
資産合計	1,475,844	1,545,443	69,599
負債合計	218,698	201,953	▲16,745
純資産合計	1,257,145	1,343,489	86,343
負債・純資産合計	1,475,844	1,545,443	69,599

事業トピックス

人気クリエイターの増加



まぐまぐ大賞

2004年より、まぐまぐ！から発行されているメルマガの中から、読者やクリエイターの皆様からの推薦票により選出されたメルマガをランキング形式で発表する式典「まぐまぐ大賞2020（2020年12月実施）」を開催。推薦票総数は約24,000件から**約53,000件**に大幅増加。

また、井上公造氏や小松成美氏など他にも多数の新しい人気クリエイターが当社プラットフォームを活用し、価値あるコンテンツを配信を開始。



井上 公造 様

毎日の芸能ニュースはもちろん、ホットな現場で取材するからこそ手にできる貴重な情報を集めたコラムなど、とっておきの芸能情報をお伝えします。



小松 成美 様

これまでノンフィクション作家として、たくさんのトップアスリートやトップ経営者の唯一無二の「人生」を取材してきました。その経験をもとに、書籍だけでは書ききれなかった小松成美流のコミュニケーション方法や独自哲学を伝えていきたいと思えます。（2021年5月11日より配信開始）

ライブ配信需要の拡大

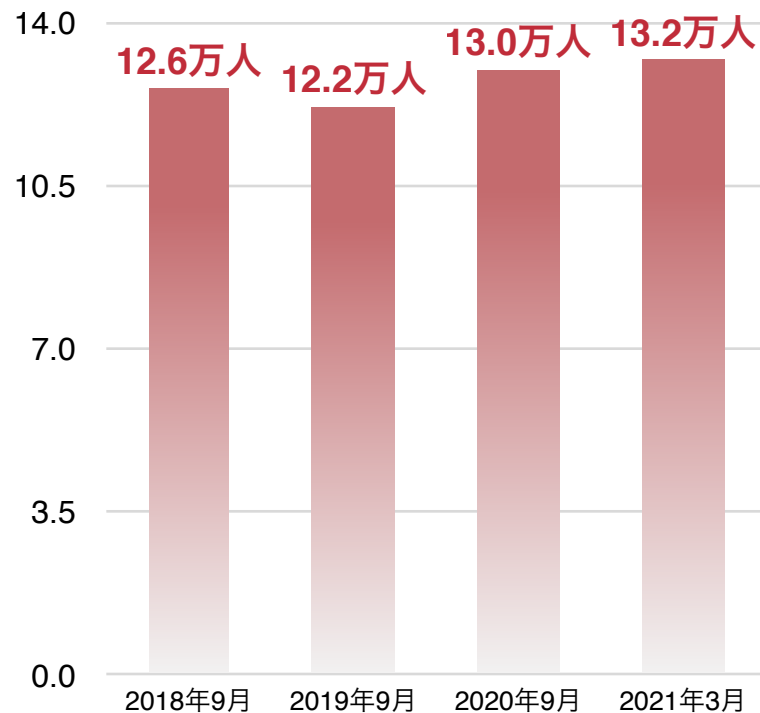
コンテストでの利用や、ジャーナリスト辛坊治郎氏のヨットでの太平洋単独横断に向けた訓練の様子での利用など、ライブ配信サービス「まぐまぐ！Live」の利用は拡大。



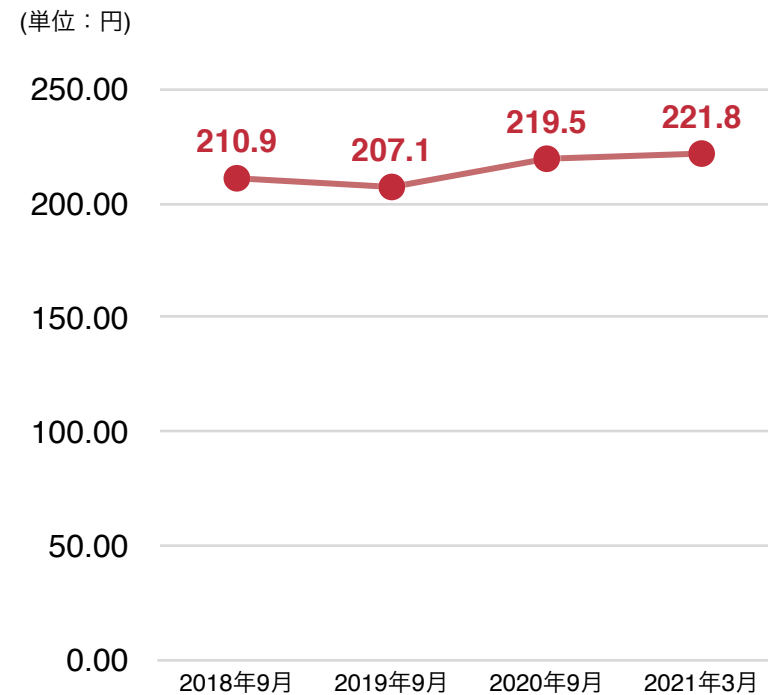
まぐまぐ！ 有料会員 会員数、平均単価推移

まぐまぐ！ 有料会員数は2020年9月末時点と比較し、約2,000人増加。平均単価も堅調に推移。

●まぐまぐ！ 有料会員数推移



●まぐまぐ！ 有料会員平均単価推移

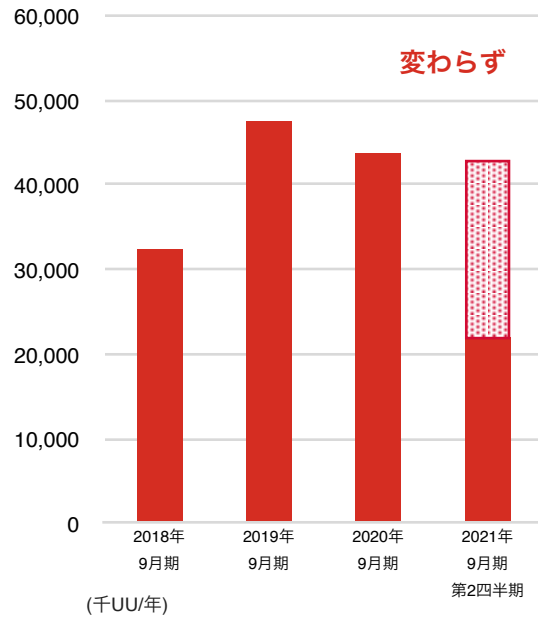


各メディア UU推移

TRiP EDiTORおよびby themは、順調にUUを伸ばしております。

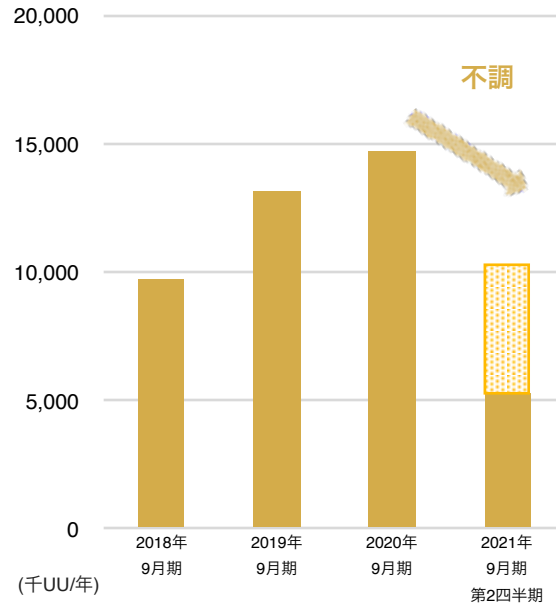
MAG2NEWS

前期は年間で約4,370万UUだったが、
今期半期のみで「約2,200万UU」と堅調



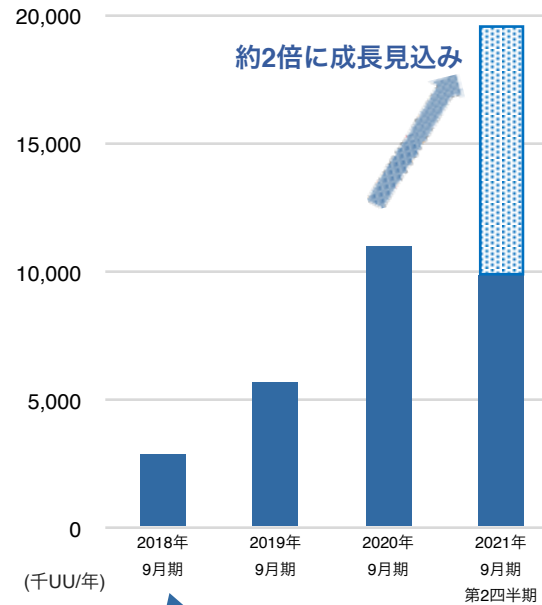
MONEY VOICE

前期は年間で約1,470万UUだったが、
今期半期のみで「約530万UU」と不調



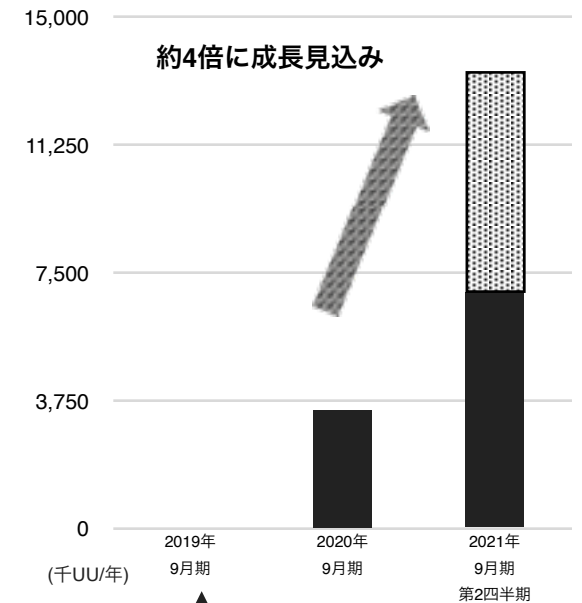
TRiP EDiTOR

前期は年間で約1,100万UUだったが、
今期半期のみで「約980万UU」に成長



by them

前期は年間で約350万UUだったが、
今期半期のみで「約690万UU」に成長



エアトリグループシナジーの拡大

当社と株式会社エアトリによる、投資事業における新規合弁会社 株式会社エアトリまぐまぐベンチャーズを設立。国内外のベンチャー企業への投資を通じて、投資先の上場等によるキャピタルゲインの獲得だけでなく、投資先との資本業務提携等によるプラットフォームやメディアとのシナジーを創出していきます。



今後の展開

サブスクリプション市場の成長

新型コロナによる巣ごもり需要もありデジタルコンテンツ市場が引き続き成長。

●サブスクリプションサービス市場規模の推移



毎年約10%の成長を
続けることが予測されています

※サブスクリプションサービスの定義：月間・年間の定額料金で複数回以上の利用ができるサービス。

※サービス・健康・教育：スポーツジム、ファッション、美容、飲食店、教育、ソフトウェア、その他のサービス。

※物品購入・レンタル：各種物品や飲食物の定期購入、カーシェア、自動車等の定額利用。

※デジタルコンテンツ：音楽配信、動画配信、電子書籍、デジタルニュース等。

※株式会社ICT総研「2020年サブスクリプションの市場動向調査」より引用

海外でニュースレターサービスへの投資や買収が増加したこともあり、日本でもニュースレターサービスへの注目度が高まることに。

●海外のニュースレターサービスの投資・買収状況

Revue	オランダ発のニュースレター配信プラットフォーム。2021年1月にTwitterが買収。
Substack	2019年7月にAndreessen Horowitzから1,530万ドルのシリーズA調達を実施。
Morning Brew	250万人以上の購読者を誇る米国発ニュースレター。2020年10月にBusiness Insiderを運営するInsider,Inc.が7,500万ドルで買収。2021年1月時点では会員数は500万人に達している。
The Hustle	150万人以上の購読者を誇るニュースレター。2021年2月にHubspotが買収。

ニュースレターサービスへの高い注目度

当社プラットフォームのまぐまぐ！は、2001年から約20年間サブスクリプション型のサービスも提供。クリエイターの表現を届けるだけでなく安定した収益を得られる場としても提供し続けています。



NewsPicksが提供する番組「HORIE ONE」に、当社代表 松田誉史が出演し、堀江貴文氏とともに、「これからのメルマガサービス」や「クリエイターが稼げるメディアの形」について深掘りしました。

これまでのアセットを生かし、コンテンツを配信するなら「まぐまぐ！」になるため、クリエイターファーストのプラットフォームとしてシステム投資。



様々なジャンルのクリエイター

約13万人の有料会員

約750万のメールアドレス

約20年のメルマガ運用実績

4つのWEBメディア

Vision

伝えたいことを、知りたい人に。

ユーザーひとりひとりにとって価値のある最適なコンテンツを継続的に届けることを使命とし
様々な価値や文化を創造します。



本資料は、株式会社まぐまぐによる本資料の現在における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られた、もしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

株式会社まぐまぐの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。本資料における将来展望に関する表明は、本資料現在において利用可能な情報に基づいて株式会社まぐまぐによりなされたものであります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、株式会社まぐまぐは、本資料に含まれる将来展望に関するいかなる表明の記載内容の更新・修正の義務を負うものではありません。